

児童発達支援に係る自己評価結果公表用

公表日:令和5年2月22日

事業所名: 尼崎市立あこや学園

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> されている(13) どちらともいえない(5) ・感染症対策の為、十分なスペースを取れるように、プレイルームやホール等、人数を調整する等して保育している。 ・バス内は密になることもある(特に母子通園時)。 	<ul style="list-style-type: none"> されている(41) どちらともいえない(2) わからない(1) ・子供が遊んだり、落ち着いて過ごせるスペースが確保できていると感じる ・1人のパーソナルスペースは狭い気もする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準上のスペースは確保されているが、場面、活動に応じ、より広くスペースを使えるよう工夫していく。
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> できている(5) どちらともいえない(11) できていない(3) ・配置基準に応じて、人数確保をしているが、子どもの姿によっては個別対応の職員が必要であり、適切とは言えない。 ・活動内容によっては+αの職員が必要と感じる。 ・年度初めから、余裕のある人員配置が必要である。 ・感染症等、急な休みに備える為には、フリーの職員の確保が必要。 ・前半は不足していると感じていたが、現在は十分に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> できている(24) どちらともいえない(14) できていない(4) わからない(2) ・年度途中で退職される方がいらっしゃったので、他の先生方の仕事量の負担等は心配でした。 ・先生不足により児童全員に目が届いていない。と見受けられます。 ・STの回数が増えるとうれしい。OTもあればいいと感じる。 ・いつもいらっしゃる先生は知識も豊富でとても頼りになります。 ・全員が、とはいきれない 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置基準は満たしているが、より支援を充実させるため、欠員が生じないよう可能な限りの対策をとり、体制の構築に努める。 ・専門職を含む職員全員が情報共有に努め、より広い視点で適切な支援ができるように努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> されている(13) どちらともいえない(5) されていない(1) ・視覚支援を用いて、子どもが見通しを持てるよう工夫している。 ・子どもの特性に応じた環境設定、整備をしている。 ・個々に合ったものを、十分用意できていないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> されている(34) どちらともいえない(5) わからない(4) ・視覚支援も多いので、子ども達もわかりやすいと思います。 ・あこや学園の園児本人にとって、エレベーター配置は不要かもしれませんが、来園される方々がホールへ上がる際に、エレベーターがないと困るケースがあるかと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に行った職員が車椅子介助の方法等を学ぶ機会を、継続して作っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> されている(12) どちらともいえない(7) ・消毒などの対策を都度行っている。 ・保育室は清潔に保たれ、整理整頓されている。 ・定期的に安全点検を実施している。 ・トイレは夏は暑く、冬は寒く、快適ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> されている(35) どちらともいえない(6) されていない(1) わからない(2) ・活動に応じて、場所であったり、その時の環境はしっかり考えられていると感じます。 ・子どもは床に落ちている物など、すぐに口に入れようとするので、床に米粒や、よだれ、本棚にホコリがあったりすると気になってしまいます。 ・トイレが夏は暑く、冬が寒い。 ・トイレの手洗い場の詰まりが全く解消されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育前後の清掃、環境確認に加え、療育中も気になることがあれば対応するよう努める。 ・排水が悪かった手洗いは、専門業者に依頼し改善した。 ・トイレについては、可能なところから対応していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> されている(13) どちらともいえない(5) ・日々、担任間で反省など話し合い、次に生かせるようにしている。他クラスの担任とも話し合いの場がある。 ・会議で行事の反省を行い、全員が周知しながら振り返りができるようにしている。 ・バス添乗等で、十分時間を取れないこともある。 ・全職員が意見を出しやすい、会議の持ち方、提案の仕方ができるとより良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、日々の支援、事業計画等職員のPDCAサイクルへの参画を進めていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・実施していない。 		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> できている(14) どちらともいえない(5) ・事業団研修や園内研修、個々でのオンライン研修等があり、参加の機会がある。 ・外部の研修機会はありますが、参加しづらかったり、日々の業務に追われていることが多い。 ・人員確保が難しい日があり、十分とは言えない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi環境を整えオンライン研修を受けやすい環境を作った。充実した内部研修の企画・実施、および体制を整えることで外部研修を受講しやすい環境を作っていく。
適切な支援	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> されている(17) どちらともいえない(1) ・懇談時や日頃より、ニーズを聞き取り、担任、児童発達支援管理責任者と相談の上、支援計画の作成がなされている。 ・都度、個々のニーズや課題を分析し、支援計画作成に繋げている。 		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> されている(16) どちらともいえない(1) ・コロナ禍で限られた回数だが、今年度は火曜日保育で個別保育を行っている。 ・密を回避しながら、全体での行事を少しずつ再開している。 ・感染症対策で制限を設けながらもはありますが、2クラスでの保育(リズム遊びや集団遊び)等している。 	<ul style="list-style-type: none"> されている(42) どちらともいえない(1) わからない(1) ・要望も踏まえたうえで、の到達目標の設定、それに対しての支援内容、個人懇談での到達状況の説明など、とてもきめ細かに支援してもらっていると感じる。 ・スモールステップに思えることもありますが、着実に自立へ向かえるよう、目標を立ててくれていると思います。 ・細やかな支援をしてくださっています。 ・支援目標に対しての結果(経過)報告もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、丁寧に一人ひとりの子どもの発達ニーズに沿った個別支援計画を作成していく。 ・言語相談、発達検査などの個別支援に加え、火曜日保育で実施している個別保育の回数も検討し充実へ努める。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	<ul style="list-style-type: none"> されている(16) どちらともいえない(1) ・担任と児童発達支援管理責任者で話し合いを重ね、目標を設定し、支援内容を作成している。 ・支援の手立ては、保護者にわかりやすいよう、具体的に記載するようにしている。 		
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> できている(14) どちらともいえない(3) ・計画を意識し、担任間で共有した上で、統一した支援を行っている。 ・支援計画の見直しも含め、適切に支援していけるよう努めている。 ・身辺介助の場面では、時間に余裕が必要と感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> できている(42) どちらともいえない(1) わからない(1) ・細やかな支援をしてくださっています。 ・支援目標に対しての結果(経過)報告もあります。 	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> されている(16) どちらともいえない(1) ・毎月、大クラス、小クラスごとに、話し合いを十分に行い、決めている。 ・日々の療育から、行事を含め、必要なことは園全体で検討、共有している。 		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> できている(9) どちらともいえない(8) ・春休み、冬休みは園庭開放を実施した。 ・夏休みは新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、プール開放を中止した。 ・休日や長期休暇中の過ごし方を、休み明けや、必要に応じて長期休暇に入る前に保護者から話を聞いて共有し、支援に繋げている。 ・平日は親子登園、連絡帳、電話を通して、保護者と共有を図っている。 		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
援の提供	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> されている(15) どちらともいえない(4) ・子どもの姿に応じて考え、実施している。 ・2クラス合同保育を行う等、固定化しないよう工夫している。 ・継続することや新しいことを取り入れ、また、時期や季節を感じられるように取り組んでいる。 ・給食では、新しい献立を取り入れ、喫食状況により、味付けや切り方を変更している。 	<ul style="list-style-type: none"> されている(34) どちらともいえない(4) わからない(6) ・成長に合わせて楽しく取り組める活動をして頂いています。 ・同じ活動を何度か繰り返すことで少しずつできるが増えてきているのも良いです。 ・雨の日などのホール遊びの際、後半、飽きてしまって時間をもて遊ぶような様子が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもの姿や活動の目的に応じ、継続する、新しい試みをする、個別や人数に応じた集団遊びをするなど活動を工夫し、子どもの興味、関心を広げていけるよう努めていく。雨天時等、活動場所が制限される場合においても、子どもの様子に応じ臨機応変に対応できるように努める。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> されている(16) どちらともいえない(3) ・担任間で概ね出来ている。また、他クラスと合同のプログラムの時は、2クラスで打ち合わせをしている。 ・バス添乗、勤務時間差により難しい場合は、書面や前日に共有する等し、工夫している。 ・事前に話し合っているつもりでも、その場に応じて変動があったりもする。 ・当日の朝に、応援職員と内容、注意点等、確認を行っている。 		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> されている(17) どちらともいえない(4) ・ほぼ毎日、療育後に行っている。 ・バス添乗、勤務時間差により難しい場合は、書面や後日に共有する等し、工夫している。 ・言語相談については、言語の記録をもとに、様子を伝えたり、クラスでの様子を聞いたりして、共通理解をしている。 ・給食では、クラスからの喫食状況を確認したり、おかわりや残食状況を確認したりしている。 		
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> されている(15) どちらともいえない(3) ・日誌に記載している。 ・特記事項は園長、チームに報告している。 ・日誌等の記録に加え、個人での記録を丁寧に取っていくよう、工夫が必要。 ・毎週、子どもの姿を記録し、次回の支援を検討した上で、課題を考えるようにしている。 ・給食では、喫食状況の書式を変更しメニューに応じた対応が分かるようにした。 		
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> されている(16) どちらともいえない(1) ・定期的なモニタリングを行い、見直している。 		
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	<ul style="list-style-type: none"> 行われている(15) どちらともいえない(2) ・担任、児童発達支援管理責任者が参加している。 ・必要に応じて他機関との連携を図っている。 		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> されている(11) どちらともいえない(1) ・事業団内の医療型児童発達支援センターと連携し、必要に応じて、PT、OTの視点から意見を頂いたり、リハビリテーションの様子を見に行き、共有したりしている。 		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> されている(11) どちらともいえない(1) ・主治医の指示書をもとにマニュアルを作成し、対応している。 		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> できている(16) どちらともいえない(2) ・進路先への事前の引き継ぎを書面や対面で行っている。また、アフターケアを実施している。 ・あまごこファイル作成について、情報提供等を行い、保護者と連携しながら進めている。 ・就学、就園予定先へ見学会の案内を行ったり、独自に見学を受け入れたりして場面の共有を行っている。 		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	<ul style="list-style-type: none"> している(11) どちらともいえない(4) ・療育見学会を実施している。 ・必要に応じて、他機関の見学や、個別支援計画の共有をしている。 ・状況に応じた連携を行っている。 ・職員対象のベアトレ研修を実施した。親の会講師を受けて頂くにあたり、連携を図っている。 		
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> している(18) ・今年度は感染症対策をしながら、公立保育所、私立保育園と交流を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> されている(39) どちらともいえない(2) されていない(2) ・今年度は保育所交流が多く、充実している ・来園される園児との交流が少ない為、来園された園児とどのような交流があるのか説明がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の状況に応じ、保育所交流等の機会を増やしていく。また、交流内容については、クラスだより等を通じて保護者に報告するようにする。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> している(4) どちらともいえない(8) していない(5) ・感染症拡大防止の為、招待等は控えた行事が多い。 ・地域の園庭開放は未実施。 ・清掃ボランティアを募り、地域との繋がりを広げている。 ・きらきらクラブ、わくわくクラブを実施している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを広く受け入れ、地域住民との交流機会を作っていく。 ・感染症の状況に応じ、地域への園庭開放を再開する。
1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> されている(17) どちらともいえない(2) ・見学日、契約日、一日入園、療育説明会等で説明している。 ・給食については、毎月、献立表を作成し、保護者へ配布している。 	<ul style="list-style-type: none"> わからない 5 ・入園時にお話していただきました。 ・親の会と育成会への入会が強制的にも関わらず、説明がなかったのは疑問でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児面接の時に、親の会から親の会の説明プリントを配布してもらうようにした。 	
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> されている(17) ・個人懇談時に時間をしっかりと取り、説明を行っている。 ・今年度は家庭訪問を実施し、説明した。 	<ul style="list-style-type: none"> されている(44) ・個別の懇談の時間を設けてくださっています。 		
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> されている(16) どちらともいえない(2) ・今年度、全園児対象に、コンパクトな内容のものを親の会で実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> されている(35) どちらともいえない(4) わからない(4) ・親の会の研修で実施された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談、連絡帳のやり取り等を通して、個別に子どもの育児に関する相談に応じることを継続する。 ・ペアレント・トレーニングは、対象を検討しながら今後も継続して実施していく。 	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	している(20) どちらともいえない(1) ・直接や電話、連絡帳を通じて行っている。 ・言語相談では、同席、見学、単独時の手紙や懇談等で、共通理解をするようにしている。 ・他職種や保護者と連携し、園児に合わせて、ペースト、刻み等の対応食を提供している。また、喫食状態等の情報共有を行っている。	されている(43) どちらともいえない(1) ・電話や連絡ノートでやり取りできる。	・今後も、取り組みを継続し、全職員が子どもの発達状況や課題について保護者と共通理解をはかる。また、多職種が連携し、子育てを支援していく。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	されている(18) どちらともいえない(2) ・連絡帳、電話、または直接行っている。 ・担任だけでなく難しい時は、園長、チーフ、児童発達支援管理責任者、必要に応じて、他職種にも相談し、一緒に対応している。 ・献立シボの提供や保護者から食への相談があれば対応している。	されている(41) どちらともいえない(2) わからない(1) ・懇談や、日頃の連絡ノートでしっかり支援していただいています。 ・保育士や心理士、精神科医との面談あり、相談する機会が十分設けられていると感じる。		
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	されている(17) どちらともいえない(1) ・コロナ禍の中で、感染対策しながら、毎月、親の会、役員会を実施している。 ・役員会、親の会を一緒にやり、活動支援、連携支援に取り組んでいる。	されている(38) どちらともいえない(3) わからない(3) ・親同士のつながりはとてもあると思います。		
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	行われている(18) ・すぐに園長、チーフに報告し、対応している。職員にも報告し、周知している。 ・必要に応じて、その他機関とも連携を取り、対応している。	行われている(35) どちらともいえない(3) わからない(5) ・苦情は今までにないのでわからない。 ・親の会等で説明していただいています。		
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	されている(18) ・個々に配慮し、丁寧にしている。 ・連絡帳や電話を使って、伝達漏れのないように対応している。 ・理解しやすいよう、マカンを使ったり、簡潔でわかりやすい言葉がけをするようにしている。	されている(37) どちらともいえない(4) わからない(3) ・電話や連絡帳だけでなく、親子通園時にも積極的に話し掛けてもらえるので、心配りがされていると感じる。		
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	されている(17) ・毎月、クラスだより、あこやっこだより、献立表の配布、季節ごとに保健だよりの配布をしている。 ・通常の体制、情報発信に加え、ミマメルメでの細やかな発信をしている。	されている(32) どちらともいえない(6) されていない(1) わからない(5) ・園だよりにて確認している。 ・ホームページは情報が少ないと思います。 ・学園側の説明不足は明らかに多い。	・ホームページについては、内容を本部事務局と相談していく。 ・感染拡大により休止していた行事の再開、実施方法の変更等があり、説明が不十分だった面はある。意見を真摯に受け止め、あらゆる面を想定して準備、説明を行うよう努める。	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	されている(19) ・園外への持ち出し時は許可簿に記入し、園長の許可を得ている。 ・個人情報等は、出来る限り持ち帰らず、勤務時間に終了出来るようにしている。 ・誌面、ホームページへの掲載等については、入園時に保護者への同意を取り対応している。	されている(39) どちらともいえない(2) わからない(3) ・親の会役員が名簿等を作ると言う話を聞き、連絡網も作らない時代です、数名からも「それは個人情報にならないのかな」と言う声を聞きました。	・関係法令に基づき、適切な取り扱いを行う。 ・親の会の名簿については、役員から説明していただくようにしている。	
	非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	されている(19) どちらともいえない(2) ・保護者に、療育説明会や個別支援計画で伝えている。 ・年度初めに書面や口頭で全職員で確認している。 ・BCP計画を策定中。	されている(39) どちらともいえない(2) わからない(3) ・避難訓練や親の会での講習会が行われている。	・マニュアルについては、随時見直しを行い、職員、保護者に周知徹底していく。
		2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	している(21) ・毎月、避難訓練を実施している。 ・年に1回、防災給食を実施している。	している(44) ・問題ありません。	
		3 虐待を防止するための職員研修等の確保等の適切な対応	している(18) どちらともいえない(3) ・虐待防止委員会を設置し、全体でも共有、検討している。 ・今年度、全職員で研修を実施した(12月)。		
4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		されている(19) ・バス内の安全の為、子どもの姿に応じて、ベルトやカーシートの使用等、保護者に了承を頂き、行っている。また、全体周知を行っている。 ・個別支援計画書にて、内容を記載している。 ・組織的な決定の手順を再確認した。			
5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		行われている(21) ・全体周知、エビベン研修を実施している。 ・主治医からアレルギーについて指示書を頂き、対応食を提供している。 ・個別に献立対応表を作成し、書面での確認の上、保護者へ配布している。 ・対応はマニュアルに沿って行われている。			
6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		されている(20) どちらともいえない(1) ・園長、チーフに報告し、報告書の作成、全体周知をし、再発を防ぐようにしている。			